



ロータリーをもっと学ぼう明日のために

本日のプログラム

「国際奉仕委員会 タイ訪問について」

国際奉仕委員会 委員長 小林 眞樹 会員

次週のプログラム 10月28日(火)

「観月例会」 於：煌

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ● 副会長/森元浩 ● 会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ● 副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2774回例会 2014年10月14日(火)天候 雨

月間テーマ 職業奉仕月間・米山月間

■ロータリーソング 我等の生業

■司会 五十嵐 稔 会長

■ビジター

第2510地区第11グループ

ガバナー補佐 大日向 豊吉 氏

奨学金学生

清尚学院高校3年 徳永 颯 さん

遺愛女子高校2年 大久保 明香 さん

函館大妻高校1年 竹内 捺芽 さん

■会長報告

1、国際ロータリー
第2510地区第11グループ
ガバナー補佐
大日向豊吉氏が
おみえです。



2、林会員のご母堂様が10月10日にご逝去されお通夜と葬儀が執り行われました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

3、10日函館国際ホテルにて、第2回会長幹事会が開催されました。

4、国際ロータリー第2510地区羽部ガバナーより先日開催されました地区大会のお礼状が届いております。

5、理事会報告

6、合同事務所事務局員を紹介いたします。金浜智恵子さんです。

■委員会報告

1、青少年奉仕
委員会：
奨学金を支給いたします。



2、ローターアクト委員会：10月25日(土) 函館

大学RACガバナー公式訪問のご案内をいたしました。ご参加くださいますようお願いいたします。

3、親睦活動委員会：次週例会終了後、親睦活動委員会打合せを致しますので委員会の方はご出席願います。

■幹事報告

1、第2四半期会費のご案内をいたしました。今月までにお払込ください。

2、本日午後6時半より、当ホテルにてクラブアッセンブリーを開催いたします。

3、先日IMのご案内をいたしました。本日メールボックスへ例会変更と懇親会費変更のお知らせを配布いたしました。11月25日例会をIM並びに合同例会へ変更いたします。

4、長崎東RCより会報が届いておりますので回覧願います。

5、23日函館RC移動例会、27日函館亀田RC移動例会へそれぞれ例会変更しております。

「職業奉仕月間に因んで」

ロータリーの「きも」と「からくり」

職業奉仕委員会 委員長

戸嶋 浩 会員



ガバナー月信によると職業奉仕月間は職業奉仕をしようという意味ではなく、職業奉仕について会員の理解を推進しようという月間、すなわち職業奉仕理解推進月間だそうです。

まずロータリーの会員は全員がクラブの職業分類により決められた職業人であるということが必要で、職業奉仕こそ会員の基本的な生活の土台であります。

ロータリーには、「入りて学び、出でて奉仕せ

よ」という独特の「からくり」があります。「入りて学び」とは例会に出席して親睦、そして友情と思いやりの理念である「寛容の精神」に支えられたクラブ奉仕を学ぶことからすべてが始まります。この「寛容」こそがロータリーの「きも」です。これはポール・ハリスの「私が、神の摂理により、大きなコロシウムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして一言述べた機会に恵まれることになったとしたら、私は何のためらいもなく、あらん限りの声で叫ぶでしょう。寛容！」この有名な一節によります。(The Rotarian 創刊号)

この寛容の英語はTolerationです。お互いの弱さも含めて、たとえ不本意であったとしても受け入れる大きな心、という意味ではないでしょうか。自分だったら何と言うのでしょうか。いくら考えても寛容以上の言葉は思いつきません。(川口西RC片岡暎子談・1970～1990年代にかけて、ロータリー関係資料の翻訳者)

このロータリーはいろいろな奉仕活動の機会を与えてくれるところですが、決して奉仕そのものを目的とするところではなく、奉仕の実践から学んだことを会員の持つ一人ひとりの職業を通じて地域社会に奉仕するという原理があります。すべての実践はいわゆる職業奉仕に帰するわけで、「職業奉仕こそロータリーの金看板」と教えられています。すなわち「職業奉仕」は会員各自の職業を通じて個人の奉仕(I serve)であり、みんなで一緒にやろう(We serve)ということではありません。これがロータリーの特徴であり、他の奉仕団体とは明らかに違うところです。ところが、1987年にRIが「職業奉仕はクラブと会員双方の責務である」と声明したため、クラブの役割はロータリーの目的をクラブの活動に適用して規範を示し、さらに会員が各自の職業的能力をもって寄与でき

るプロジェクトを開発して奉仕を推進奨励することになり、この曖昧模糊としたプロジェクトであるWe serveが理解を難しいものになっている一つと考えられます。

第一標語の「超我の奉仕」Service above selfは「利他の心をもってすれば、利自ずから己に還る。奉仕は我執を超えて無心であれ」といことで、平たく言えば「奉仕第一・自己第二」と理解されます。これを身につけるために各業種から選ばれた会員が例会に出席して、奉仕のこころを学び、自己を研さんして、自分の職業に役立て実践することがロータリーの「からくり」で、これを理解することが最も大切なことと思います。

つぎに「出でて奉仕せよ」ですが、シェルドンのいう「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」One profits most who serves bestという第二標語があります。しかし奉仕活動に王道はありません。相手によっては同じサービスでも喜ばれたり、不快にさせたりすることがあるからです。いろいろな奉仕活動に参加して失敗を重ねて多くのことを学ぶことが大切で、失敗を恐れる必要はありません。ロータリーの活動すべてが実験であり、学習の場と考えられるからです。奉仕活動を通じて自分の引出しを増やし、より良い活動を目指すしかないのですから。一方奉仕活動がうまくいったときには、活動に参加したもののだけが味わえる麻薬のような昂揚した達成感があるものです。これこそ奉仕活動の醍醐味ともいえます。

以上を簡単にまとめると、ロータリークラブは「入りて学び、出でて奉仕する」機会を提供してくれるところであり、会員は例会に出席して、寛容の精神と奉仕の心を学び、いろいろな奉仕活動を通して自己を改善して自分の職業に役立て実践することになります。

■ニコニコボックス

大日向ガバナー補佐 今回で3度目の訪問になりました。今日はよろしくお祈りします。

五十嵐稔会長 ようこそおいで下さいました大日向ガバナー補佐様

國谷幹事 戸嶋先生、卓話よろしくお祈りします。

佐藤雄喜会員、松山会員 戸嶋先生、卓話楽しみにしております。

山谷会員、吉田昇会員 月初めです。今月も宜しくお願いします。

戸嶋会員 今日、職業奉仕について、ちょっとおしゃべりしますので、お聞き下さい。

■広告料 (株)石畑商店 石畑弘樹会員

■出席報告

- ・10月14日(火) 49名中出席27名(免除3名)
- ・9月30日(火) 79.17%

市内他クラブ プログラム

10月22日(水)	函館北RC	
	「卓話」	本庄 彩芳氏
10月23日(木)	函館RC	移動例会
10月24日(金)	函館五稜郭RC	卓話
10月27日(月)	函館亀田RC	移動例会

◆ テレホンサービス 26-3170 ◆

(株)新宮電気設備

石川 昭信 会員

昭和4丁目60-5 電話 43-8011

及明ビル管理(株)

小林 眞樹 会員

本通1-5-13 電話 53-6037